

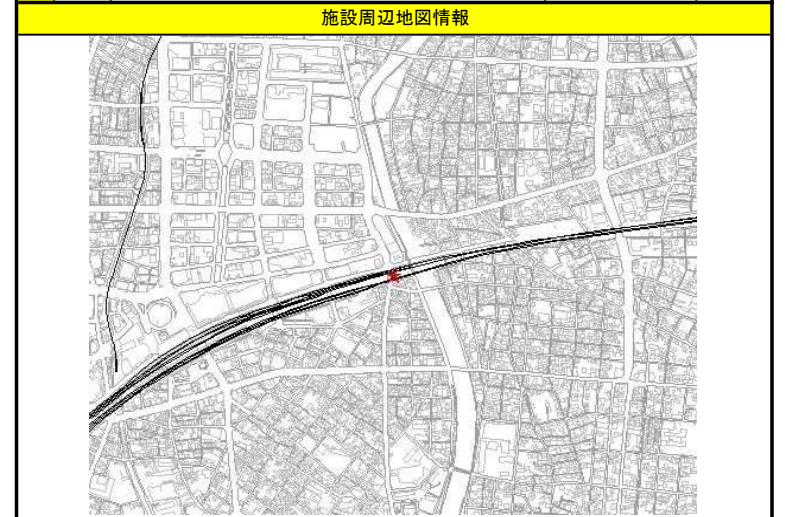
リストNo	18-002	施設コード	04942	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	北寺島倉庫			
所在(町名・番地)	中区北寺島町100-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 杉田 実良	
	施設	産業部観光・シティプロモーション課	課長名 杉田 実良	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	浜松まつり等観光イベントに係る準備事務及び関係者会議等を実施するため。			
主な利用者	浜松まつり組織委員会統監部役員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	374.06	土地面積 561.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2016/6/30		
	経過年数(主要建物)	6		
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,157	1,157	1,157
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	35,909	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-055	山下町書庫	地域	1.8
26-036	木戸雨水ポンプ場	—	0.2
19-001	駅北駐車場	地域	0.2
08-009	なのはな保育園	生活	0.2
11-003	子育て情報センター	市域	0.2
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.2
04-008	浜松科学館	市域	0.3
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン	広域	0.3
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン	広域	0.4



基本情報	リストNo	18-002	施設コード	04942	所管課	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	施設名	北寺島倉庫			施設	本庁	産業部観光・シティプロモーション課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		浜松まつり等観光イベントに係る準備事務及び関係者会議等を実施するため。					
		主な業務内容	浜松まつり組織委員会における企画統制監理部(統監部)事務所として使用				
		主な利用者	浜松まつり組織委員会統監部役員				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		浜松まつりは当市伝統のイベントであり、統監部事務所としてニーズがある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		浜松まつりは今後も継続されるため、統監部事務所としてのニーズは変わらずある。				
	特記事項		浜松まつり組織委員会事務局に無償貸付。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし(平成27~28年度にJR高架橋柱耐震補強に伴い、補償工事で建て直しを実施)。					
	対応策	—					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	浜松まつり組織委員会事務局との無償貸付契約により管理している。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>							
		<p>これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組むを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
現在の運用を基本としながら、施設の有効活用の可能性について検討していく。									

リストNo	18-004	施設コード	01486
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	舞阪コミュニティ防災センター		
所在(町名・番地)	西区舞阪町舞阪601-8		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人
	施設	西区舞阪協働センター	課長名 土屋 宏幸
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	防災資機材・備蓄用品の倉庫として使用		
主な利用者	西区舞阪協働センター職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	362.14	土地面積 308.44
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1981/3/25	
	経過年数(主要建物)	42	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	97	97	97
	維持補修費(修繕費)	0	0	188
	物件費(光熱水費)	29	27	39
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	126	124	324	
行政コスト(B-A)		126	124	324
収支前年比		101.61	38.27	165.31
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	13,725	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-046	舞阪小学校	生活	0.2
07-037	舞阪なかよし放課後児童会	生活	0.2
01-015	舞阪協働センター	地域	0.2
14-054	浜松第43分団車庫	コミュニティ	0.3
04-037	舞阪宿脇本陣	文化財	0.4
26-014	弁天島中継ポンプ場	—	0.4
12-007	水産物荷捌所	小規模等	0.5
08-016	舞阪第2保育園	生活	0.6



基本情報	リストNo	18-004	施設コード	01486	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	舞阪コミュニティ防災センター			施設	西区舞阪協働センター	
	人員数	正規職員(人)	5	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	2
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		防災資機材・備蓄用品の倉庫として使用					
		主な業務内容	防災資機材・備蓄用品の保管				
		主な利用者	西区舞阪協働センター職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識が高まっている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			南海トラフ大地震の発生が想定される			
	特記事項			地震以外にも風水害の際にも活用することがある			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
	2020		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年の劣化により施設の老朽化が進んでおり、壁面の錆やクロスが剥がれが生じている。					
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、必要な箇所を修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	348	342	895	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸） 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組むを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。									





基本情報	リストNo	18-005	施設コード	02754	所管課	本庁	-	
	施設名	旧雄踏総合事務所別館			施設	西区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-	
施設運営分析	複合施設	-						
	関連政策名	-						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		文書、防災用備品及び備蓄品の保管庫						
		主な業務内容	文書、防災用備品及び備蓄品の保管					
		主な利用者	市職員					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
		特記事項						
		-						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	-	2022	-	のべ募集人員	参加者数	-	
		-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
	事業②	-	2022	-	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
	事業③	-	2022	-	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	-	
	事業④	-	2022	-	-	-	-	
-		2021	-	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	文書の保管及び防災用備品保管、選挙資材等の保管場所として使用している。空調設備等の不具合がある。						
	対応策	かなり老朽化が進んでいるが、適正な管理に努める。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	-	-	-	-		
		民間移管	-	-	-	-		
		管理主体変更	-	-	-	-		
代替サービス		-	-	-	-			
統廃合	-	-	-	-				
複合化	-	-	-	-				
広域化	-	-	-	-				
民生活導入	-							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	455	1,323	660	1人当たりのコスト(円)	-	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-	
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	-	-	-	-		
	2民生活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-		
保管物品等の整理をすすめ、近隣の倉庫等への統廃合や複合化の検討を行う。									

リストNo	18-006	施設コード	02520	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	三ヶ日資材倉庫			
所在(町名・番地)	北区三ヶ日町三ヶ日995			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	土木部北土木整備事務所	課長名 鈴木 智彦	
	施設	土木部北土木整備事務所	課長名 鈴木 智彦	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	当該施設に災害を未然に防ぐために使用する資材等が定量保管することで、早急の対応が可能となる			
主な利用者	北土木事務所職員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	374.00	土地面積 2,099.69	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1994/4/1		
	経過年数(主要建物)	29		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計(A)	3	3	3
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	26	13	26
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	6	16	8
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	32	29	34	
行政コスト(B-A)		29	26	31
収支前年比		111.54	83.87	140.91
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		661	822	860
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	95,290	1,522	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域	1.2
13-057	大苗代団地	地域	0.5
08-020	三ヶ日保育園	生活	0.5
15-068	三ヶ日西小学校	生活	0.8
05-019	三ヶ日弓道場	地域	0.9
03-013	三ヶ日文化ホール	地域	1.0
13-055	小深田団地	地域	1.0
14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	1.0
01-018	三ヶ日協働センター	地域	1.1



基本情報	リストNo	18-006	施設コード	02520	所管課	本庁	土木部北土木整備事務所
	施設名	三ヶ日資材倉庫			施設	土木部北土木整備事務所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	効率的な道路河川管理。快適な道路・川づくり。防災体制の強化。					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		当該施設に災害を未然に防ぐために使用する資材等が定量保管することで、早急の対応が可能となる					
		主な業務内容	緊急修繕業務				
		主な利用者	北土木事務所職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			道路の老朽化や頻繁な豪雨により必要性は高まっている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			年々突発的な出来事が多くなってきている。			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現時点で大きな損傷等はないものの、経年劣化が進行すると推察する					
	対応策	メンテナンス等をしっかりと行っていく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	78	70	83	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>				<p>これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。</p>			
		1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	—
2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。									



リストNo	18-007	施設コード	04614
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	引佐文化財収蔵庫		
所在(町名・番地)	北区引佐町井伊谷248-60		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆
	施設	市民部文化財課	課長名 平田 隆
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	浜松市内の遺跡から出土した遺物や文化財の保管		
主な利用者	—		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	596.00	土地面積 1,578.00 うち所有面積 1,578.00 うち借地面積 0.00 代表地目(現況地目) 宅地
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1980/2/1	
	経過年数(主要建物)	43	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3	3	3
	収入計(A)	3	3	3
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	364	364	462
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	193	201	182
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	557	565	644	
行政コスト(B-A)	554	562	641	
収支前年比	98.58	87.68	123.75	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	1,492	1,492	1,492	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	38,456	7,514	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-014	引佐多目的研修センター	地域	0.1
06-013	引佐図書館	地域	0.2
01-019	引佐協働センター	地域	0.2
04-057	浜松市地域遺産センター	地域	0.3
15-066	井伊谷小学校	生活	0.4
14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ	0.4
08-019	引佐保育園	生活	0.4
08-048	引佐幼稚園	生活	0.5



基本情報	リストNo	18-007	施設コード	04614	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	引佐文化財収蔵庫			施設	市民部文化財課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		浜松市内の遺跡から出土した遺物や文化財の保管					
		主な業務内容	文化財収蔵業務				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			設置当初より収蔵点数は増加している			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も収蔵点数は増加していく			
	特記事項			近い将来スペースが不足する			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	毎年、収蔵すべき文化財数は増加の一途であり、近い将来に収蔵容量が不足するのは必至である。また、屋根や外壁の劣化など施設の老朽化が著しく、要修繕箇所が多数発生している。					
	対応策	新たな収蔵庫確保の検討と併せて、収蔵資料の重要度や材質等に応じた整理などを進め、必要な収蔵スペースの確保や施設の適切な維持管理を図っていく必要がある。また、修繕の緊急性・必要性の高い箇所から優先順位をつけ、工事を行っていく必要がある。※屋根及び外壁の改修・設計は、令和5年度以降順次実施予定。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	○	—	
	民生活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
—		—					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	930	943	1,076	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
保管物品等の整理をすすめ、近隣の倉庫等との統廃合を検討する。									



基本情報	リストNo	18-008	施設コード	02413	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	浜北防災倉庫			施設	浜北区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防災資機材及び非常食等保管倉庫						
		主な業務内容	浜北区内の防災資機材及び非常食等の一部を保管					
		主な利用者	浜北区役所職員、危機管理課職員					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識は高まっている						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			南海トラフ大地震の発生が想定される			
		特記事項			地震以外にも風水害の際にも活用することがある			
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和55年建設のため老朽化が進んでいる施設であり、適切な修繕や改築が必要である。						
	対応策	計画的に修繕及び改築を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	防災拠点であり、廃止や民活導入は検討していない。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,656	1,461	1,584	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									



リストNo	18-009	施設コード	04769	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	大平書庫			
所在(町名・番地)	浜北区大平686			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	-	課長名 -	
	施設	浜北区・区振興課	課長名 金原 由直	
設置根拠(法)	-			
条例	-			
設置目的	区役所内での文書・資料の保管スペースが少ないことから、当該施設を保管場所として活用することにより、文書管理等業務を円滑に遂行することを図る。			
主な利用者	職員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	~			
管理者名	-			
開館時間	-			
建物情報	総延床面積	1,728.53	土地面積 5,897.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1983/3/1		
	経過年数(主要建物)	40		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	-	-	-
	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
一般財源	-	-	-	
特記事項	-			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	309	454	593
	維持補修費(修繕費)	0	110	0
	物件費(光熱水費)	284	236	289
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	593	800	882
行政コスト(B-A)		593	800	882
収支前年比		74.13	90.70	99.21
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		7,440	7,440	7,645
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	14,542	70,138	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-092	鹿玉分団大平	コミュニティ	0.1
04-058	滝沢キャンプ場	小規模等	1.1
14-001	消防ヘリポート	広域	1.2
01-009	農業バイオセンター	市域	1.3
04-006	フルーツパーク	広域	1.7
20-013	浜北環境センター	地域	2.0



基本情報	リストNo	18-009	施設コード	04769	所管課	本庁	-
	施設名	大平書庫			施設	浜北区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-
	複合施設	-					
施設運営分析	関連政策名	ファンリティマネジメントの推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		区役所内での文書・資料の保管スペースが少ないことから、当該施設を保管場所として活用することにより、文書管理等業務を円滑に遂行することを図る。					
		主な業務内容	文書・資料の保管				
		主な利用者	職員				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		H28年度の区役所移転に伴い、区役所内の保管スペースが狭小となるため、ニーズは高まる。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		長期保存(30年など)文書の保管数も漸次増加しており、ニーズも増加していくと思われる。				
	特記事項		-				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
		-	2022	-	-	-	
事業②	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
	-	2022	-	-	-		
事業③	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
	-	2022	-	-	-		
事業④	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
	-	2022	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	①職員が常駐する施設でないため、防犯上の問題がある。②施設の老朽化に伴い、冬期凍結時における敷地内の水道管破裂など、設備類の故障が発生している。					
	対応策	①機械警備を導入することで、24時間体制で防犯監視を行うようにしている。②故障が発生した場合には、すみやかに修繕を行うことで、当該施設が安全に利用できるよう、維持・管理に努めている。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	-	-	-	-	
民間移管		-	-	-	-		
管理主体変更		-	-	-	-		
代替サービス		-	-	-	-		
民活導入	統廃合	-	-	-	-		
	複合化	-	-	-	-		
	広域化	-	-	-	-		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	343	463	510	1人当たりのコスト(円)	-	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-	
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	-	-	-	-		
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-		
当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。									



基本情報	リストNo	18-010	施設コード	00060	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	天竜防災センター			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		災害に備えた防災資機材の保管のため。					
		主な業務内容	防災資機材の保管				
		主な利用者	天竜区・区振興課(防災)				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 天竜区の防災倉庫の核となっている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 防災倉庫として重要な位置づけである。						
	特記事項 —						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
	2020		—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築35年以上が経過しているが、維持管理をしながら倉庫としての役割を果たしている。今後も天竜区の基幹倉庫として利用を継続予定。					
	対応策	維持管理業務を継続する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	272	256	248	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								



施設カルテ 2023

リストNo	18-011	施設コード	00585	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	竜川書庫			
所在(町名・番地)	天竜区横山町204-2			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	普通財産	普通財産	その他	
所管課	本庁	-	課長名 -	
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治	
設置根拠(法)	-			
条例	-			
設置目的	文書・選挙資材等の保管(廃校舎の活用)			
主な利用者	市職員			
運営形態	直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間	~			
管理者名	-			
開館時間	-			
建物情報	総延床面積	2,229.00	土地面積 14,274.86	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	4		うち所有面積 14,274.86
	耐震性能(1s値)(主要建物)	-		
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1969/1/1		
	経過年数(主要建物)	54		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	-	-	-
	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
一般財源	-	-	-	
特記事項	-			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	522	703	706
	維持補修費(修繕費)	0	0	1,704
	物件費(光熱水費)	37	33	252
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	559	736	2,662
行政コスト(B-A)		559	736	2,662
収支前年比		75.95	27.65	210.94
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		102	102	126
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	86,118	35	-	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-106	天竜第7分団東	コミュニティ	0.0
08-083	竜川幼稚園	生活	0.3
15-086	横山小学校	生活	0.3
25-019	旧横山町簡易水道	-	0.4
03-063	竜川ふれあいセンター	生活	0.5
14-110	天竜第7分団市場	コミュニティ	0.6
14-109	天竜第7分団東雲名	コミュニティ	1.6



基本情報	リストNo	18-011	施設コード	00585	所管課	本庁	-
	施設名	竜川書庫			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-
複合施設	-						
施設運営分析	関連政策名	ファンリティマネジメントの推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		文書・選挙資材等の保管(廃校舎の活用)					
		主な業務内容	文書等保管場所				
		主な利用者	市職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		減少していない				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		文書・資材保管場所は継続して必要				
	特記事項		-				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-	2022	-	のべ募集人員	参加者数	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業②		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業③		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業④		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
	-	2020	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	廃校舎を利用しており築後54年が経過しているが、今後も維持管理をしながら継続使用していく。					
	対応策	維持管理業務を継続して行っていく。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	-	-	-	-	
		民間移管	-	-	-	-	
		管理主体変更	-	-	-	-	
		代替サービス	-	-	-	-	
統廃合	-	-	-	-			
複合化	-	-	-	-			
広域化	-	-	-	-			
民活導入	-						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	251	330	1,194	1人当たりのコスト(円)	-	-	-
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	-	-	-	-	
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-	
<p>当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。</p>								



基本情報	リストNo	18-013	施設コード	00599	所管課	本庁	市民部文化財課
	施設名	旧龍山郷土文化保存伝習施設			施設	天竜区龍山協働センター	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		伝統文化、歴史的産業文化を後世に残すことを目的に建設された龍山郷土文化保存伝習施設を、現在は資料保管倉庫として利用している。					
		主な業務内容	本施設の展示物の保存、保管				
		主な利用者	市				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 現在は閉館し倉庫として利用しているため社会ニーズは減ってきている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 旧龍山の歴史を知る貴重な資料として必要な施設である。						
	特記事項 —						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業④		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
	—	2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	昭和58年に建設され老朽化してきているが、現在のところ修繕等の必要はないが、今後、雨漏りなどの軽微な修繕、補修は必要となってくる。また、施設周辺の草刈りなど環境整備は必要である。					
	対応策	毎年、施設周辺の草刈りを実施し、環境美化に努めている。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	148	145	142	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組むを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。									



リストNo	18-015	施設コード	02177
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	中区燃料保管庫		
所在(町名・番地)	中区元城町		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人
	施設	中区・区振興課	課長名 中村 英克
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	浜松市指定避難所に付随して保管している燃料用の保管庫		
主な利用者	危機管理課職員、中区役所職員、地区防災班職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	7.52	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2006/2/1	
	経過年数(主要建物)	17	
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		69	69	69
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,122	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-055	山下町書庫	地域	0.9
18-066	旧保健所	地域	1.4
18-002	北寺島倉庫	地域	1.6
同分類			
01-001	本庁舎	市域	0.0
06-001	中央図書館	市域	0.1
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.2
04-009	美術館	市域	0.2
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.3
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.4
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.5
01-002	元目分庁舎	市域	0.5
その他の分類			



基本情報	リストNo	18-015	施設コード	02177	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	中区燃料保管庫			施設	中区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		浜松市指定避難所に付随して保管している燃料用の保管庫					
		主な業務内容	避難所用発電機で使用する燃料を保管				
		主な利用者	危機管理課職員、中区役所職員、地区防災班職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識は高まっている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			南海トラフ大地震の発生が想定される			
	特記事項			地震以外にも風水害の際にも活用することがある			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	簡易な造りであり、経年劣化が進行しやすい。					
	対応策	定期的な巡回により施設の損傷を発見しやすくする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	防災拠点であり、廃止や民活導入は検討していない。	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									

リストNo	18-016	施設コード	01006
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	三組倉庫		
所在(町名・番地)	中区三組町28-5		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	その他
所管課	本庁	財務部アセットマネジメント推進課 庁舎・資産管理担当	課長名 井村 正志
	施設	財務部アセットマネジメント推進課 庁舎・資産管理担当	課長名 井村 正志
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	旧バス車庫		
主な利用者	職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	189.50	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1994/4/1	
	経過年数(主要建物)	29	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	6	6	7
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	6	6	7	
行政コスト(B-A)		6	6	7
収支前年比		100.00	85.71	10.45
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		238	238	238
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	548	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-066	旧保健所	地域	0.8
18-055	山下町書庫	地域	1.4
同分類			
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.2
15-004	西小学校	生活	0.4
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.4
04-009	美術館	市域	0.5
01-003	鴨江分庁舎	市域	0.5
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.6
06-001	中央図書館	市域	0.6
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.6



基本情報	リストNo	18-016	施設コード	01006	所管課	本庁	財務部アセットマネジメント推進課	庁舎・資産管理担当	
	施設名	三組倉庫			所管課	施設	財務部アセットマネジメント推進課	庁舎・資産管理担当	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	—	
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	ファンリティマネジメントの推進							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		旧バス車庫							
		主な業務内容	倉庫						
		主な利用者	職員						
	主な事業	設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
		特記事項							
事業名・開催回数(2022)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—							
		対応策	—						
			—						
		資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
	廃止		—	—	—	—			
	民間移管		—	—	—	—			
	管理主体変更		—	—	—	—			
	代替サービス		—	—	—	—			
	統廃合		—	—	—	—			
	民活導入	複合化	—	—	—	—			
		広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	32	32	37	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
参考	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
	利用者の圏域毎の方向性 休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
個別方針	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
	当面適切な維持管理に努める。近隣公共施設との統廃合や複合化を検討する。							



リストNo	18-017	施設コード	02609
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	中区防災倉庫		
所在(町名・番地)	中区元城町		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人
	施設	中区・区振興課	課長名 中村 英克
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	浜松市指定避難所に付随して保管してある防災資機材及び非常食等保管倉庫		
主な利用者	中区役所職員、危機管理課職員、地区防災班職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	831.42	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1985/3/1	
	経過年数(主要建物)	38	
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,833	1,909	2,283
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	20,056	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-055	山下町書庫	地域	0.9
18-066	旧保健所	地域	1.4
18-002	北寺島倉庫	地域	1.6
同分類			
01-001	本庁舎	市域	0.0
06-001	中央図書館	市域	0.1
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.2
04-009	美術館	市域	0.2
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.3
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.4
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.5
01-002	元目分庁舎	市域	0.5



基本情報	リストNo	18-017	施設コード	02609	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	中区防災倉庫			施設	中区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		浜松市指定避難所に付随して保管してある防災資機材及び非常食等保管倉庫						
		主な業務内容	防災資機材及び非常食等の一部を保管					
		主な利用者	中区役所職員、危機管理課職員、地区防災班職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識が高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 南海トラフ大地震の発生が想定される							
	特記事項 地震以外にも風水害の際にも活用することがある							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでいる施設があり、適切な修繕や改築が必要である。収容物が多くなり収納スペースが足りない施設がある。						
	対応策	修繕及び改築を計画的に行なっていき、併せて適切な収納スペースの確保を行なう。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	防災拠点であり、廃止や民生活導入は検討していない。ただし、避難所となっている学校が移転したときには防災倉庫の移設が必要となる。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。</p> <p>特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。</p> <p>水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。</p> <p>さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo	18-018	施設コード	01687
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	中区選挙資材用倉庫		
所在(町名・番地)	中区元城町		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	-	課長名 -
	施設	中区選挙管理委員会事務局	課長名 中村 英克
設置根拠(法)	-		
条例	-		
設置目的	選挙時に必要な資機材を格納する。		
主な利用者	中区選挙管理委員会事務局職員、投票事務従事者、選挙人		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	-		
開館時間	-		
建物情報	総延床面積	121.00	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2002/2/1	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	-	-
財源	国・県	-	-
	寄付金	-	-
	その他	-	-
	市債	-	-
	一般財源	-	-
特記事項	-		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		-	-	-
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		204	215	222
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,338	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-055	山下町書庫	地域	0.9
18-066	旧保健所	地域	1.4
18-002	北寺島倉庫	地域	1.6
同分類			
01-001	本庁舎	市域	0.0
06-001	中央図書館	市域	0.1
04-001	浜松城公園天守閣	広域	0.2
04-009	美術館	市域	0.2
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.3
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.4
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.5
01-002	元目分庁舎	市域	0.5
その他の分類			



基本情報	リストNo	18-018	施設コード	01687	所管課	本庁	-
	施設名	中区選挙資材用倉庫			施設	中区選挙管理委員会事務局	
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-
	複合施設	-					
施設運営分析	関連政策名	公正かつ適正な選挙の実施					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		選挙時に必要な資機材を格納する。					
		主な業務内容	選挙業務				
		主な利用者	中区選挙管理委員会事務局職員、投票事務従事者、選挙人				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		選挙事務は定期的または臨時的に発生するためニーズは変わらない				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		選挙事務は定期的または臨時的に発生するためニーズは変わらない				
	特記事項		選挙時以外にも定期的な資材管理を行なう				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-	2022	-	-	-	
			2021	-	-	-	
			2020	-	-	-	
			2019	-	-	-	
事業②		-	2022	-	-	-	
			2021	-	-	-	
			2020	-	-	-	
事業③		-	2022	-	-	-	
			2021	-	-	-	
事業④		-	2022	-	-	-	
			2021	-	-	-	
	2020		-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設後、年月のたった倉庫については、経年劣化で建て替えが必要となる。					
	対応策	計画的に順次建て替え等を行う。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	-	-	-	投票所の廃止等がされた場合、廃止の可能性が考えられる。	
		民間移管	-	-	-	-	
		管理主体変更	-	-	-	-	
		代替サービス	-	-	-	-	
		統廃合	-	-	-	それぞれの投票所ごとに設置されているため統廃合は難しい。	
	複合化	-	-	-	-		
	広域化	-	-	-	-		
民活導入	-						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	-	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-	
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	-	-	-	-	-	
		2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-	
<p>小規模な倉庫のため、耐用年数を待たず近隣施設の空きスペース等への移転を検討する。</p>									



リストNo	18-019	施設コード	05002
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	旧富吉体育館		
所在(町名・番地)	中区富吉町55-1		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	普通財産	普通財産	その他
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 渡辺 貴史
	施設	中区・社会福祉課	課長名 横井 通文
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	富吉町住民の倉庫(旧富吉体育館)		
主な利用者	富吉町住民		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	153.42	土地面積 242.07
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1982/3/1	
	経過年数(主要建物)	41	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	管理は地元が行っている。		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		521	521	521
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	18,894	2,320	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-002	北寺島倉庫	地域	1.0
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.1
03-077	江東会館	コミュニティ	0.1
03-022	東部協働センター	生活	0.5
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.5
14-041	浜松第14分団	コミュニティ	0.7
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.8
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.8
15-003	佐藤小学校	生活	0.8



基本情報	リストNo	18-019	施設コード	05002	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課
	施設名	旧富吉体育館			施設	中区・社会福祉課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	すべての人が安心していきいきと暮らすことのできる地域福祉の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		富吉町住民の倉庫(旧富吉体育館)					
		主な業務内容	倉庫				
		主な利用者	富吉町住民				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	特記事項						
	管理は地元で行っている。						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
2020			—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	市で設置、無償貸与。					
	対応策	—					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸） 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	管理主体変更	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努め、地域主体の施設とするよう検討する。									

リストNo	18-020	施設コード	02611
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	東区防災倉庫		
所在(町名・番地)	東区流通元町		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人
	施設	東区・区振興課	課長名 小野 哲司
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	避難所開設時に必要な資機材を格納する。		
主な利用者	地区防災班、避難者		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	404.60	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2006/2/1	
	経過年数(主要建物)	17	
用途地域	準工業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,280	1,280	1,219
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	14,369	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
12-005	総合産業展示館	市域	0.1
01-012	東区役所	地域	0.2
03-083	安新会館	コミュニティ	1.1
26-039	市野雨水ポンプ場	—	1.1
15-115	与進中学校	生活	1.1
07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活	1.4
15-031	中ノ町小学校	生活	1.4
08-026	中ノ町幼稚園	生活	1.4



基本情報	リストNo	18-020	施設コード	02611	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	東区防災倉庫			施設	東区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		避難所開設時に必要な資機材を格納する。					
		主な業務内容	防災業務				
		主な利用者	地区防災班、避難者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			大規模地震の発生が心配される中必要性は増している。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			大規模地震の発生が心配される中必要性は増している。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設後、年月のたった倉庫については、経年劣化で建て替えが必要となる。					
	対応策	計画的に順次建て替えを行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									



リストNo	18-021	施設コード	01688	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	東区選挙資材用倉庫			
所在(町名・番地)	東区流通元町			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	-	課長名 -	
	施設	東区選挙管理委員会事務局	課長名 小野 哲司	
設置根拠(法)	-			
条例	-			
設置目的	選挙時に必要な資機材を格納する。			
主な利用者	投票事務従事者、選挙人			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	~			
管理者名	-			
開館時間	-			
建物情報	総延床面積	68.00	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	2002/1/1		
	経過年数(主要建物)	21		
用途地域	準工業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	3,537	-	3,537
	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
一般財源	3,537	-	3,537	
特記事項	-			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		-	-	-
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		114	116	121
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	721	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
12-005	総合産業展示館	市域	0.1
01-012	東区役所	地域	0.2
03-083	安新会館	コミュニティ	1.1
26-039	市野雨水ポンプ場	-	1.1
15-115	与進中学校	生活	1.1
07-020	すぎの子第2放課後児童会	生活	1.4
15-031	中ノ町小学校	生活	1.4
08-026	中ノ町幼稚園	生活	1.4



基本情報	リストNo	18-021	施設コード	01688	所管課	本庁	-
	施設名	東区選挙資材用倉庫				施設	東区選挙管理委員会事務局
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-
	複合施設	-					
施設運営分析	関連政策名	公正かつ適正な選挙の実施					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		選挙時に必要な資機材を格納する。					
		主な業務内容	選挙業務				
		主な利用者	投票事務従事者、選挙人				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民主主義の根幹として選挙の重要性は増している。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			民主主義の根幹として選挙の重要性は増している。			
	特記事項			-			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-	2022	-	-	-	
			2021	-	-	-	
			2020	-	-	-	
			2019	-	-	-	
事業②		-	2022	-	-	-	
			2021	-	-	-	
			2020	-	-	-	
事業③		-	2022	-	-	-	
			2021	-	-	-	
事業④	-	2022	-	-	-		
		2021	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設後、年月のたった倉庫については、経年劣化で建て替えが必要となる。					
	対応策	計画的に順次建て替えを行う。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	-	-	-	-	
		民間移管	-	-	-	-	
		管理主体変更	-	-	-	-	
		代替サービス	-	-	-	-	
民活導入	統廃合	-	-	-	-		
	複合化	-	-	-	-		
広域化	-	-	-	-			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	-	-	-
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-
入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	-	-	-	-	-	-
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-	-
小規模な倉庫のため、耐用年数を待たず近隣施設の空きスペース等への移転を検討する。								

リストNo	18-022	施設コード	00431	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	東区水防倉庫			
所在(町名・番地)	東区常光町			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	土木部河川課	課長名 中津川 英彦	
	施設	土木部河川課	課長名 中津川 英彦	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	東区内の水防団員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	103.53	土地面積 641.80	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2002/3/12		
	経過年数(主要建物)	21		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	16	15	15
	物件費(借地料)	320	320	320
支出計(B)	336	335	335	
行政コスト(B-A)		336	335	335
収支前年比		100.30	100.00	99.70
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		416	416	416
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	3,133	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-002	常光浄水場	—	0.1
14-010	東消防署上石田出張所	地域	1.8
03-084	恒武会館	コミュニティ	1.8
01-012	東区役所	地域	1.8
08-027	豊西幼稚園	生活	1.8
07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	1.8
12-005	総合産業展示館	市域	1.9
15-033	豊西小学校	生活	2.0



基本情報	リストNo	18-022	施設コード	00431	所管課	本庁	土木部河川課	
	施設名	東区水防倉庫			施設	土木部河川課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	防災体制の強化						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をする。					
		主な利用者	東区内の水防団員					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	特記事項	台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでおり、今後も継続した維持管理が必要である。						
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	なし							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,245	3,236	3,236	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸）前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									





基本情報	リストNo	18-023	施設コード	02178	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	東区燃料保管庫			施設	東区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		浜松市指定避難所に付随して保管している燃料用の保管庫					
		主な業務内容	災害時に使用する燃料を保管				
		主な利用者	危機管理課職員、東区役所職員、地区防災班職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識は高まっている				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		南海トラフ大地震の発生が想定される				
	特記事項		地震以外にも風水害の際にも活用することがある				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			のべ募集人員		参加者数		
事業②	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		事業③	—	2022	—	—	—
2021	—			—	—		
2020	—			—	—		
事業④	—			2022	—	—	—
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—					
	対応策	—					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	防災拠点であり、廃止や民活導入は検討していない。						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。</p>							
		<p>これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。</p>							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									

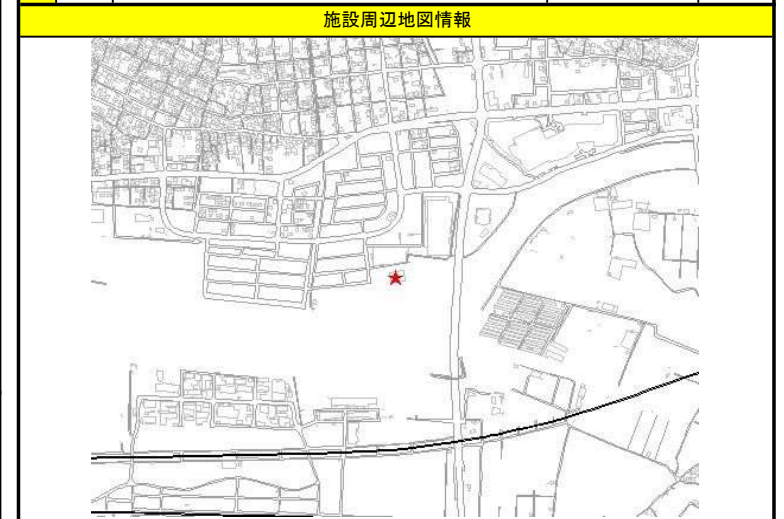
リストNo	18-025	施設コード	02608	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	西区防災倉庫			
所在(町名・番地)	西区雄踏一丁目31番1号 他			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人	
	施設	西区・区振興課	課長名 鈴木 克尚	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	防災資機材、非常食等保管倉庫			
主な利用者	西区役所職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	438.21	土地面積 818.73	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨プレハブ造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2007/3/31		
	経過年数(主要建物)	16		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	17,047	—	17,047
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	17,047	—	17,047	
特記事項	・消防設備保守費は他施設と一括契約のため、按分			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	8	8	8
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	3	3	3
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	11	11	11	
行政コスト(B-A)		11	11	11
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,046	1,022	1,028
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	39,609	8,023	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-005	旧雄踏総合事務所別館	地域	1.4
01-014	西区役所	地域	0.0
24-014	小山川排水機場	—	0.3
10-007	ふれあい交流センターつつじ	地域	0.8
13-038	領家団地	地域	1.0
15-122	雄踏中学校	生活	1.1
04-036	重要文化財中村家住宅	文化財	1.2
05-039	雄踏グラウンドダックアウト	小規模等	1.3
08-017	雄踏保育園	生活	1.3



基本情報	リストNo	18-025	施設コード	02608	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	西区防災倉庫			施設	西区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防災資機材、非常食等保管倉庫						
		主な業務内容	西区内の防災資機材や非常食の一部を保管					
		主な利用者	西区役所職員、危機管理課職員、地区防災班員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識は高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 南海トラフ大地震の発生が想定される							
	特記事項 地震以外にも風水害の際にも活用することがある							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現在のところ、特に大きな問題は無いが経年劣化が進むことが懸念される						
	対応策	維持管理に努め長寿命化を図る						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	25	25	25	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
		これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									



リストNo	18-026	施設コード	01686
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	西区選挙資材用倉庫		
所在(町名・番地)	西区湖東町2005 他		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	-	課長名 -
	施設	西区選挙管理委員会事務局	課長名 鈴木 克尚
設置根拠(法)	-		
条例	-		
設置目的	選挙用資材を保管するため(10か所)		
主な利用者	市職員		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	~		
管理者名	-		
開館時間	-		
建物情報	総延床面積	44.00	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2002/2/1	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	-	-
	国・県	-	-
	寄付金	-	-
	その他	-	-
	市債	-	-
一般財源	-	-	-
特記事項	-		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		-	-	-
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		73	74	74
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	273	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-048	和地小学校	生活	0.1
26-035	和地中継ポンプ場	-	0.1
03-040	和地協働センター	生活	0.2
07-035	わじ第1放課後児童会	生活	0.2
13-039	湖東団地	地域	0.6
03-089	湖東西会館	コミュニティ	0.7
26-011	湖東浄化センター	-	0.8
03-088	湖東会館	コミュニティ	1.2



基本情報	リストNo	18-026	施設コード	01686	所管課	本庁	-
	施設名	西区選挙資材用倉庫				施設	西区選挙管理委員会事務局
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-
	複合施設	-					
施設運営分析	関連政策名	公正かつ適正な選挙の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		選挙用資材を保管するため(10か所)					
		主な業務内容	選挙資材保管場所				
		主な利用者	市職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 大幅な投票所の見直し等されていないためニーズに変化なし						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 人口減少等の要因で投票所の見直しや空きスペース活用の可能性						
	特記事項 -						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-	2022	-	のべ募集人員	参加者数	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
		-	2022	-	-	-	
事業②	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
	-	2022	-	-	-		
事業③	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
	-	2022	-	-	-		
事業④	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
	-	2022	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	学校敷地等に設置する簡易で小規模な施設のため、経年劣化による雨漏り等の事象がみられる。					
	対応策	施設規模・構造等により耐用年数まで使用。その後は隣接公共施設内の空きスペース等の活用を検討。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	-	-	○	投票所の見直し等があった場合施設廃止	
		民間移管	-	-	-	-	
		管理主体変更	-	-	-	-	
		代替サービス	-	-	-	-	
統廃合	-	-	-	-			
複合化	-	○	-	隣接施設空きスペースの活用			
広域化	-	-	-	-			
民活導入	-						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	-	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-	
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	-	-	-	-	-		
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-		
小規模な倉庫のため、耐用年数を待たず近隣施設の空きスペース等への移転を検討する。									



基本情報	リストNo	18-027	施設コード	00185	所管課	本庁	土木部河川課	
	施設名	西区水防倉庫			施設	土木部河川課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	防災体制の強化						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。						
		主な業務内容	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をする。					
		主な利用者	西区内の水防団員					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	特記事項	台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでおり、今後も継続した維持管理が必要である。						
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	なし							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	452	1,136	385	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									



リストNo	18-028	施設コード	02747
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	雄踏郷土資料保存庫		
所在(町名・番地)	西区雄踏町宇布見5158-6		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部文化財課	課長名 平田 隆
	施設	西区・まちづくり推進課	課長名 鈴木 一有
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	旧雄踏町における歴史、芸術及び民俗等に関する資料を保存する。		
主な利用者	西区まちづくり推進課		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	165.00	土地面積 797.93
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	2005/3/28	
	経過年数(主要建物)	18	
用途地域	第二種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	17,976	—	17,976
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	17,976	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	6	6	6
	収入計(A)	6	6	6
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	18	9	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	4	3	4
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	22	12	4	
行政コスト(B-A)		16	6	-2
収支前年比		266.67	-300.00	66.67
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		635	635	635
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	38,603	7,807	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-005	旧雄踏総合事務所別館	地域	0.4
04-036	重要文化財中村家住宅	文化財	0.1
06-009	雄踏図書館	地域	0.2
13-038	領家団地	地域	0.3
15-122	雄踏中学校	生活	0.4
15-047	雄踏小学校	生活	0.4
07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.4
03-011	雄踏文化センター	地域	0.4
16-004	外国人学習支援センター	市域	0.5



基本情報	リストNo	18-028	施設コード	02747	所管課	本庁	市民部文化財課	
	施設名	雄踏郷土資料保存庫			施設	西区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	地域の文化遺産の保全・活用						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		旧雄踏町における歴史、芸術及び民俗等に関する資料を保存する。						
		主な業務内容	倉庫					
		主な利用者	西区まちづくり推進課					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	特記事項							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	本施設は旧雄踏町の歴史と文化に関する民俗資料の保存を行うための施設である。今後、経年劣化により修繕が必要な箇所があるので予想される。						
	対応策	他の文化施設との連絡調整を図り、資料を適切に管理していく。経年劣化による不具合については、適切に修繕を行っていく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	倉庫のため、民活導入は難しい。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	97	36	-12	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。保管物品等の整理を進め、近隣施設との統廃合を検討する。								

リストNo	18-029	施設コード	02513
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	弁天島防災倉庫		
所在(町名・番地)	西区舞阪町弁天島2733-1		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人
	施設	西区舞阪協働センター	課長名 土屋 宏幸
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	防災資機材の保管、地域防災の拠点		
主な利用者	西区舞阪協働センター職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	389.16	土地面積 639.66
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1997/6/6	
	経過年数(主要建物)	25	
用途地域	第一種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	—	—	—
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	83	83	83
	維持補修費(修繕費)	0	0	439
	物件費(光熱水費)	99	91	104
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	182	174	626	
行政コスト(B-A)		182	174	626
収支前年比		104.60	27.80	195.63
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		3,162	3,162	3,162
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	25,679	38,060	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	0.8
13-036	蓬萊園団地	地域	0.1
08-015	舞阪第1保育園	生活	0.1
10-022	舞阪高齢者福祉施設	コミュニティ	0.1
26-015	蓬萊園中継ポンプ場	—	0.2
10-009	ふれあい交流センター陽だまり	地域	0.2
04-046	弁天島駅観光案内所	小規模等	0.5
04-017	渚園	地域	0.5
26-014	弁天島中継ポンプ場	—	0.5



基本情報	リストNo	18-029	施設コード	02513	所管課	本庁	危機管理監危機管理課
	施設名	弁天島防災倉庫			施設	西区舞阪協働センター	
	人員数	正規職員(人)	5	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	2
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		防災資機材の保管、地域防災の拠点					
		主な業務内容	消防車庫、地域防災本部				
		主な利用者	西区舞阪協働センター職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識が高まっている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 南海トラフ大地震の発生が想定される						
	特記事項 地震以外にも風水害、火災の際にも活用される						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	壁紙に剥がれや階段の錆があり、現状のままでは建物の劣化が進む可能性がある。					
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、必要な箇所を修繕していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	468	447	1,609	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸）利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。									



リストNo	18-030	施設コード	01484			
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫					
施設名	吹上自動車車庫					
所在(町名・番地)	西区舞阪町舞阪601-1					
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設			
所管課	本庁	-	課長名 -			
	施設	西区舞阪協働センター	課長名 土屋 宏幸			
設置根拠(法)	なし					
条例	-					
設置目的	物品保管庫として使用					
主な利用者	職員					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	~					
管理者名	-					
開館時間	-					
建物情報	総延床面積	102.40	土地面積	1,107.00		
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	1,107.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	1983/7/30				
	経過年数(主要建物)	39				
用途地域	工業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	-	-	-		
	国・県	-	-	-		
	寄付金	-	-	-		
	その他	-	-	-		
	市債	-	-	-		
一般財源	-	-	-			
特記事項	-					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	3	3	3
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	3	3	3
行政コスト(B-A)		3	3	3
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	49,257	0	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	0.0		
	15-046	舞阪小学校	生活	0.2		
	07-037	舞阪なかよし放課後児童会	生活	0.2		
	01-015	舞阪協働センター	地域	0.2		
	14-054	浜松第43分団車庫	コミュニティ	0.3		
	04-037	舞坂宿脇本陣	文化財	0.4		
	26-014	弁天島中継ポンプ場	-	0.4		
	12-007	水産物荷捌所	小規模等	0.5		
	08-016	舞阪第2保育園	生活	0.6		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-030	施設コード	01484	所管課	本庁	-	
	施設名	吹上自動車庫			施設	西区舞阪協働センター		
	人員数	正規職員(人)	5	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	2	
	複合施設	-						
施設運営分析	関連政策名	ファンリティマネジメントの推進						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		物品保管庫として使用						
		主な業務内容	物品の保管					
		主な利用者	職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測							
	特記事項							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
				のべ募集人員	参加者数			
事業①				2022	-	-	-	
				2021	-	-	-	
				2020	-	-	-	
				2022	-	-	-	
事業②				2021	-	-	-	
				2020	-	-	-	
				2022	-	-	-	
事業③				2021	-	-	-	
			2020	-	-	-		
			2022	-	-	-		
事業④			2021	-	-	-		
			2020	-	-	-		
			2022	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設設置から30年以上が経過し、雨漏り等の劣化があることから、倉庫内の物品の保管に不備が生じている。						
	対応策	継続的に修繕を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	-	-	-	-		
		民間移管	-	-	-	-		
		管理主体変更	-	-	-	-		
		代替サービス	-	-	-	-		
統廃合	-	-	-	-				
複合化	-	-	-	-				
広域化	-	-	-	-				
民活導入	-							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	29	29	29	1人当たりのコスト(円)	-	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-	
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	-	-	-	-		
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-		
当面適切な維持管理に努める。保管物品等の整理を進め、他の施設への統廃合や複合化を検討する。									

リストNo	18-031	施設コード	02908
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	吹上書庫		
所在(町名・番地)	西区舞阪町舞阪601-1		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	-	課長名 -
	施設	西区舞阪協働センター	課長名 土屋 宏幸
設置根拠(法)	なし		
条例	-		
設置目的	書庫、物品等保管倉庫として使用		
主な利用者	職員		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	~		
管理者名	-		
開館時間	-		
建物情報	総延床面積	259.00	土地面積 1,218.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1984/10/10	
	経過年数(主要建物)	38	
用途地域	工業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	-	-
財源	国・県	-	-
	寄付金	-	-
	その他	-	-
	市債	-	-
	一般財源	-	-
特記事項	-		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	31	31	28
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	7	7	7
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	38	38	35	
行政コスト(B-A)		38	38	35
収支前年比		100.00	108.57	125.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	54,196	0	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-004	舞阪コミュニティ防災センター	地域	0.0
15-046	舞阪小学校	生活	0.2
07-037	舞阪なかよし放課後児童会	生活	0.2
01-015	舞阪協働センター	地域	0.2
14-054	浜松第43分団車庫	コミュニティ	0.3
04-037	舞阪宿脇本陣	文化財	0.4
26-014	弁天島中継ポンプ場	-	0.4
12-007	水産物荷捌所	小規模等	0.5
08-016	舞阪第2保育園	生活	0.6

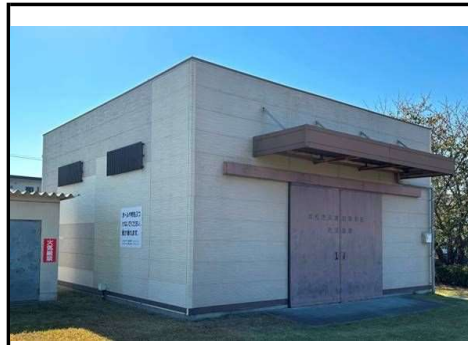


基本情報	リストNo	18-031	施設コード	02908	所管課	本庁	-
	施設名	吹上書庫			施設	西区舞阪協働センター	
	人員数	正規職員(人)	5	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	2
	複合施設	-					
施設運営分析	関連政策名	ファンリティマネジメントの推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		書庫、物品等保管倉庫として使用					
		主な業務内容	書類・物品の保管				
		主な利用者	職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測						
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-	2022	-	のべ募集人員	参加者数	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業②		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業③		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業④	-	2022	-	-	-		
	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年の劣化により雨漏り等の不具合が生じている。					
	対応策	不具合の原因を特定し、必要な修繕を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	-	-	-	保管の書類を移動するスペースが確保できないことから廃止はできない。	
		民間移管	-	-	-	-	
		管理主体変更	-	-	-	-	
		代替サービス	-	-	-	-	
統廃合		-	-	-	-		
複合化	-	-	-	-			
広域化	-	-	-	-			
民活導入	-						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	147	147	135	1人当たりのコスト(円)	-	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-	
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
縦軸 利用状況 前年収支比等による評価					縦軸 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	-	-	-	-		
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-		
当面適切な維持管理に努める。更新時には他の施設への統廃合や複合化を検討する。									



リストNo	18-032	施設コード	02612	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	南区防災倉庫			
所在(町名・番地)	南区江之島町 他			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人	
	施設	南区・区振興課	課長名 佐藤 一郎	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	防災資機材及び非常食等保管倉庫			
主な利用者	南区役所職員、危機管理課職員、地区防災班職員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	430.32	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2003/3/1		
	経過年数(主要建物)	20		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	340	—	340
	国・県	113	—	113
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	227	—	227	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,134	1,127	1,163
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	12,026	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-002	北寺島倉庫	地域	1.6
15-105	南部中学校	生活	0.5
26-006	東雨水ポンプ場	—	0.7
15-009	竜禅寺小学校	生活	0.7
08-008	南保育園	生活	0.8
26-005	南ポンプ場	—	0.8
08-006	寺島保育園	生活	0.9
01-011	南土木整備事務所	地域	1.0
06-004	南図書館	地域	1.0



基本情報	リストNo	18-032	施設コード	02612	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	南区防災倉庫			施設	南区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		防災資機材及び非常食等保管倉庫						
		主な業務内容	防災資機材及び非常食等の一部を保管					
		主な利用者	南区役所職員、危機管理課職員、地区防災班職員					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識は高まっている			南海トラフ大地震の発生が想定される			
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地震以外にも風水害の際にも活用することがある			
		特記事項						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			—					
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでいる施設があり、適切な修繕や改築が必要である。収容物が多くなり収納スペースが足りない施設がある。						
	対応策	修繕及び改築を計画的に行なっていく、併せて適切な収納スペースの確保を行なう。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	防災拠点であり、廃止や民活導入は検討していない。							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。</p> <p>特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。</p> <p>水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。</p> <p>さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。</p>						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。								

リストNo	18-033	施設コード	01689
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	南区選挙資材用倉庫		
所在(町名・番地)	南区芳川町 他		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	-	課長名 -
	施設	南区選挙管理委員会事務局	課長名 佐藤 一郎
設置根拠(法)	-		
条例	-		
設置目的	選挙投票所に付随して設置した選挙資材用倉庫		
主な利用者	南区選挙管理委員会事務局職員、投票従事職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	-		
開館時間	-		
建物情報	総延床面積	48.00	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2002/2/1	
	経過年数(主要建物)	21	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	-	-
	国・県	-	-
	寄付金	-	-
	その他	-	-
	市債	-	-
一般財源	-	-	-
特記事項	-		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		-	-	-
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		91	91	91
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
クラス数	-	-	-	
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	535	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
07-076	さなえ放課後児童会	生活	0.0
07-043	さなえ第2放課後児童会	生活	0.1
15-055	芳川小学校	生活	0.1
08-044	芳川幼稚園	生活	0.1
15-128	南陽中学校	生活	0.2
14-062	浜松第26分団	コミュニティ	0.3
26-037	参野雨水ポンプ場	-	0.4
15-056	芳川北小学校	生活	0.8



基本情報	リストNo	18-033	施設コード	01689	所管課	本庁	-
	施設名	南区選挙資材用倉庫			施設	南区選挙管理委員会事務局	
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-
	複合施設	-					
施設運営分析	関連政策名	公正かつ適正な選挙の実施					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		選挙投票所に付随して設置した選挙資材用倉庫					
		主な業務内容	選挙における投票事務資材を保管				
		主な利用者	南区選挙管理委員会事務局職員、投票従事職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		選挙事務は定期的または臨時的に発生するためニーズは変わらない				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		選挙事務は定期的または臨時的に発生するためニーズは変わらない				
	特記事項		選挙時以外にも定期的な資材管理を行う				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業②		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業③		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
	-	2020	-	-	-		
事業④	-	2022	-	-	-		
	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	簡易な造りであり、経年劣化が進行しやすい。					
	対応策	定期的な巡回により施設の損傷を発見しやすくする。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	-	-	-	-	
		民間移管	-	-	-	-	
		管理主体変更	-	-	-	-	
		代替サービス	-	-	-	-	
統廃合	-	-	-	それぞれの投票所ごとに設置されているため統廃合は行わない。			
複合化	-	-	-	-			
広域化	-	-	-	-			
民生活導入	-						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	-	-	-	
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-	
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-	
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-	
入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-		
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比率等による評価					（縦軸） 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	-	-	-	-	-		
	2民生活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-		
小規模な倉庫のため、耐用年数を待たず近隣施設の空きスペース等への移転を検討する。									



リストNo	18-034	施設コード	00395	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	南区水防倉庫			
所在(町名・番地)	南区東町695-1			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	土木部河川課	課長名 中津川 英彦	
	施設	土木部河川課	課長名 中津川 英彦	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。			
主な利用者	南区内の水防団員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	259.84	土地面積 1,119.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2018/2/13		
	経過年数(主要建物)	5		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	26,917	—	26,917
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	26,917	—	26,917
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	739	189	289
	物件費(光熱水費)	100	94	91
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	839	283	380	
行政コスト(B-A)		839	283	380
収支前年比		296.47	74.47	404.26
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,011	1,011	1,011
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	9,159	22,144	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	その他の分類	07-047	かわわ放課後児童会	生活
15-049		河輪小学校	生活	0.1
14-060		浜松第18分団	コミュニティ	0.2
15-124		東陽中学校	生活	0.7
03-045		南陽協働センター	生活	1.0
06-011		南陽図書館	地域	1.0
24-024		御給排水機場	—	1.3
14-018		南消防署芳川出張所	地域	1.4



基本情報	リストNo	18-034	施設コード	00395	所管課	本庁	土木部河川課
	施設名	南区水防倉庫			施設	土木部河川課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	防災体制の強化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をすることにより、地域住民の生命と財産を守り、安全・安心を提供する。					
		主な業務内容	大雨時等に各地域の水防団が水防活動する際の資機材の保管をする。				
		主な利用者	南区内の水防団員				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。				
	特記事項		緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化が進んでおり、今後も継続した維持管理が必要である。					
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	民活導入	複合化	—	—	—	—	
		広域化	—	—	—	—	
	民活導入	なし					

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	3,229	1,089	1,462	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									

リストNo	18-035	施設コード	02179	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	南区燃料保管庫			
所在(町名・番地)	南区楊子町			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人	
	施設	南区・区振興課	課長名 佐藤 一郎	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	浜松市指定避難所に付随して保管している燃料用の保管庫			
主な利用者	南区役所職員、危機管理課職員、地区防災班員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	2.25	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	2006/2/1		
	経過年数(主要建物)	17		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	750	—	750
	国・県	—	—	—
	寄付金	250	—	250
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	500	—	500	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		24	24	24
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	386	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-002	北寺島倉庫	地域	1.6
15-105	南部中学校	生活	0.5
26-006	東雨水ポンプ場	—	0.7
15-009	竜禅寺小学校	生活	0.7
08-008	南保育園	生活	0.8
26-005	南ポンプ場	—	0.8
08-006	寺島保育園	生活	0.9
06-004	南図書館	地域	1.0
03-029	南部協働センター	生活	1.0



基本情報	リストNo	18-035	施設コード	02179	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	南区燃料保管庫			施設	南区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		浜松市指定避難所に付随して保管している燃料用の保管庫						
		主な業務内容	避難所用発電機で使用する燃料を保管					
		主な利用者	南区役所職員、危機管理課職員、地区防災班員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 東日本大震災・熊本地震の発生により防災意識は高まっている							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 南海トラフ大地震の発生が想定される							
	特記事項 地震以外にも風水害の際にも活用することがある							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			—					
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	簡易な造りであり、経年劣化が進行しやすい。						
	対応策	定期的な巡回により施設の損傷を発見しやすくする。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	防災拠点であり、廃止や民活導入は検討していない。		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									



リストNo	18-036	施設コード	02613	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	北区防災倉庫			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀305			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人	
	施設	北区・区振興課	課長名 豊田 周一	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	避難所開設時に必要な資機材を格納する。			
主な利用者	地区防災班員、北区区振興課、危機管理課			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	114.77	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1998/1/1		
	経過年数(主要建物)	25		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
	設置事業費	6,710	—	6,710
財源	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
	一般財源	6,710	—	6,710
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		166	248	235
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	976	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-063	都田小学校	生活	0.1
03-051	都田協働センター	生活	0.1
14-066	浜松第31分団	コミュニティ	0.3
15-132	都田中学校	生活	0.6
26-026	都田地区農業集落排水処理施設	—	1.3
26-034	都田中継ポンプ場	—	1.4
17-007	都田総合公園	地域	1.6
24-032	吉影排水機場	—	1.7



基本情報	リストNo	18-036	施設コード	02613	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	北区防災倉庫			施設	北区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		避難所開設時に必要な資機材を格納する。						
		主な業務内容	災害対応業務(防災倉庫:9棟)					
		主な利用者	地区防災班員、北区区振興課、危機管理課					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。							
	特記事項 地震のみならず、風水害発生時にも使用する。							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により修繕、建替え等が必要となる。						
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、修繕等の対応を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									

リストNo	18-037	施設コード	01690
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	北区選挙資材用倉庫		
所在(町名・番地)	北区細江町気賀305		
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	-	課長名 -
	施設	北区選挙管理委員会事務局	課長名 豊田 周一
設置根拠(法)	-		
条例	-		
設置目的	選挙時に必要な選挙資機材を格納する。		
主な利用者	北区選挙管理委員会		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	-		
開館時間	-		
建物情報	総延床面積	34.00	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工数(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2001/3/1	
	経過年数(主要建物)	22	
用途地域	市街化調整区域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	1,783	1,783
	国・県	-	-
	寄付金	-	-
	その他	-	-
	市債	-	-
一般財源	1,783	-	1,783
特記事項	-		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		-	-	-
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		58	60	65
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	326	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
08-053	中央幼稚園	生活	0.1	
09-006	細江健康センター	地域	0.1	
01-017	北区役所	地域	0.1	
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.1	
04-024	気賀開所	地域	0.2	
06-015	細江図書館	地域	0.2	
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.2	
10-014	細江介護予防センター	地域	0.3	



基本情報	リストNo	18-037	施設コード	01690	所管課	本庁	-	
	施設名	北区選挙資材用倉庫				施設	北区選挙管理委員会事務局	
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-	
施設運営分析	複合施設	-						
	関連政策名	公正かつ適正な選挙の実施						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		選挙時に必要な選挙資材を格納する。						
		主な業務内容	選挙資材の維持管理					
		主な利用者	北区選挙管理委員会					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も定期的に一定の利用が見込まれる。							
	特記事項 -							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	-	2022	-	-	のべ募集人員	参加者数	
		-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
		-	2022	-	-	-	-	
	事業②	-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
		-	2022	-	-	-	-	
	事業③	-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
-		2022	-	-	-	-		
事業④	-	2021	-	-	-	-		
	-	2020	-	-	-	-		
	-	2022	-	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	選挙資材の数量に対して収納スペースが狭くなってきている。						
	対応策	バスの車庫等の空きスペースを活用する。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	-	-	-	-		
		民間移管	-	-	-	-		
		管理主体変更	-	-	-	-		
		代替サービス	-	-	-	-		
		統廃合	-	-	-	-		
	複合化	-	-	-	-			
	広域化	-	-	-	-			
民活導入	-							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	-	-	-
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-
	入居率(%)	-	-	-	1戸当たりのコスト(円)	-	-	-
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	-	-	-	-	-	-
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-	-
小規模な倉庫のため、耐用年数を待たず近隣施設の空きスペース等への移転を検討する。								



リストNo	18-038	施設コード	01811	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	北区水防倉庫			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	土木部北土木整備事務所	課長名 鈴木 智彦	
	施設	土木部北土木整備事務所	課長名 鈴木 智彦	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	水防活動時に使用する資機材を保管をすることで、市民の生命と財産を守り、安全・安心を提供することに資する。			
主な利用者	北区内在住の市民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	143.00	土地面積 260.48	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2002/4/1		
	経過年数(主要建物)	21		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	12	12	12
	収入計(A)	12	12	12
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	24	20	18
	物件費(借地料)	58	71	71
支出計(B)	82	91	89	
行政コスト(B-A)		70	79	77
収支前年比		88.61	102.60	97.47
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	5,313	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	24-039	沖通り排水機場	—	0.3		
	15-062	西気賀小学校	生活	0.8		
	14-068	細江第3分団	コミュニティ	0.8		
	08-052	西気賀幼稚園	生活	0.8		
	26-017	細江浄化センター	—	1.2		
	15-129	細江中学校	生活	1.5		
	04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	1.6		
10-014	細江介護予防センター	地域	1.6			
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	18-038	施設コード	01811	所管課	本庁	土木部北土木整備事務所
	施設名	北区水防倉庫			施設	土木部北土木整備事務所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	防災体制の強化					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		水防活動時に使用する資機材を保管することで、市民の生命と財産を守り、安全・安心を提供することに資する。					
		主な業務内容	水防活動時に使用する資機材を保管する				
		主な利用者	北区内在住の市民				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加等により、社会的にニーズは高まっている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		台風による大雨や局地的な集中豪雨は増加傾向にあり、さらに重要となると予想される。				
	特記事項		緊急時に備え、施設の維持管理を続ける必要がある。				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	現時点で大きな損傷等はないものの、経年劣化が進行すると推察する					
	対応策	施設の適正な維持、管理、修繕を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	なし						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	490	552	538	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	公共施設等総合管理計画より抜粋	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
		これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、当面適切な維持管理に努める。更新時には近隣施設等への統廃合や複合化を検討する。									

リストNo	18-039	施設コード	00205
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫		
施設名	引佐防災倉庫		
所在(町名・番地)	北区引佐町伊平589		
利用者の圏域別分類等	小規模等	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人
	施設	北区・区振興課	課長名 豊田 周一
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	避難所開設時に必要な資機材を格納する。		
主な利用者	地区防災班員、北区区振興課、危機管理課		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	125.40	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1982/3/9	
	経過年数(主要建物)	41	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	6,500	—	6,500
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	6,500	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	0	0	0	
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		85	85	85
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	197	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
18-063	旧伊平小学校	地域	1.6
22-005	引佐伊平診療所	生活	1.5
14-075	引佐第3分団伊平	コミュニティ	1.5
04-060	横尾歌舞伎伝承館 開明座(旧東四村農村コミュニティセンター)	コミュニティ	1.7
08-046	伊平幼稚園	生活	1.7
13-048	伊平団地特定公共賃貸住宅	地域	1.7
14-073	引佐第1分団横尾	コミュニティ	1.8
05-018	引佐総合体育館	地域	1.8
16-010	引佐学校給食センター	地域	1.9

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	18-039	施設コード	00205	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	引佐防災倉庫			施設	北区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		避難所開設時に必要な資機材を格納する。						
		主な業務内容	災害対応業務(防災倉庫:6棟)					
		主な利用者	地区防災班員、北区区振興課、危機管理課					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。			
		特記事項			地震のみならず、風水害発生時にも使用する。			
		事業名・開催回数(2022)						
主な事業	事業①	年度	2022	事業費(千円)	—	実施状況のべ募集人員	—	
		2021	—	—	—			
		2020	—	—	—			
		参加者数	—	—	—			
	事業②	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
		2020	—	—	—			
	事業③	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
		2020	—	—	—			
	事業④	2022	—	—	—			
		2021	—	—	—			
2020		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により修繕、建替え等が必要となる。						
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、修繕等の対応を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
		これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									



リストNo	18-040	施設コード	01370	
利用用途別分類(施設分類)	書庫・倉庫			
施設名	上町地区防災倉庫			
所在(町名・番地)	北区細江町気賀572-4			
利用者の圏域別分類等	小規模等	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	危機管理監危機管理課	課長名 小林 正人	
	施設	北区・区振興課	課長名 豊田 周一	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	避難所開設時に必要な資機材を格納する。			
主な利用者	地区防災班員、北区区振興課、危機管理課			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	130.46	土地面積 114.03	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1984/10/1		
	経過年数(主要建物)	38		
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	11,903	—	11,903
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	11,903	—	11,903	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	5	5	5
	物件費(借地利)	0	0	0
支出計(B)	5	5	5	
行政コスト(B-A)		5	5	5
収支前年比		100.00	100.00	100.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		16	432	432
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	2,970	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
15-067	気賀小学校	生活	0.2
04-021	姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館	地域	0.2
14-067	細江中央分団	コミュニティ	0.3
03-012	みをつくし文化センター	地域	0.3
04-007	国民宿舎奥浜名湖	広域	0.3
08-053	中央幼稚園	生活	0.3
01-017	北区役所	地域	0.4
09-006	細江健康センター	地域	0.4



基本情報	リストNo	18-040	施設コード	01370	所管課	本庁	危機管理監危機管理課	
	施設名	上町地区防災倉庫			施設	北区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	みんなの力で自然災害から生き残る						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		避難所開設時に必要な資機材を格納する。						
		主な業務内容	災害対応業務(防災倉庫:1棟)					
		主な利用者	地区防災班員、北区区振興課、危機管理課					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			大規模地震発生の危険性があり、必要性は高い。				
	特記事項			地震のみならず、風水害発生時にも使用する。				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			—					
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化により修繕、建替え等が必要となる。						
	対応策	予算取りまとめ課と調整し、修繕等の対応を行う。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	38	38	38	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—		
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
（縦軸） 利用状況 前年収支比等による評価					（縦軸） 前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	休憩所やトイレなどの小規模施設は、長寿命化の非対象施設として、利用状況や地域環境などを見極めつつ、適正な管理と見直しを進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	これまでも、保管品の整理などを実施し、施設の集約化、既存スペースの活用などを行ってきました。今後は更に取り組みを進め、建物の耐用年数を待つことなく、他の施設の空きスペースの活用を前提に抜本的に見直し、施設の処分を進めます。特に、防災関係の倉庫は、避難所となる学校施設内に非常食などの保管についての分散配置を進めてきましたが、沿岸域をはじめ避難所内での十分なスペースが確保できない状況であることから、今後は、既存施設の空きスペースなどの活用により、地域の保管場所として適正な配置を検討します。水防倉庫については、利用用途の特性や現状の施設状況を踏まえると、災害に対する即応体制を確保するため計画的に施設整備や長寿命化を進めていきます。さらに、施設の更新・新設時には、他施設との複合化等を含め検討します。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
緊急時に備え、適切な維持管理に努めるとともに、更新時には、保管面積の見直しや、他施設との複合化を検討する。									